

効果検証(物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金活用事業(令和7年度分))

No	事業名	事業概要	事業期間	総事業費 (円)	交付金充当額 (円)	国県補助金等 (円)	一般財源 (円)	経費内容及び対象	事業実績	事業評価
合計				72,310,009	64,505,000	0	7,805,009			
1	定額減税補足給付金	物価高が続く中で低所得世帯への支援を行うことで、低所得の方々の生活を維持する。	R7.7.7 ～ R8.2.13	9,224,413	7,733,000	0	1,491,413	<p>【経費内容】 R6住民税非課税世帯 324世帯×30千円 子ども加算 25人×20千円 定額減税を補足する給付350人(7,000千円)のうちR7計画分 事務費1,897千円</p> <p>【事業の対象(対象者、対象施設等)】 ・低所得世帯等の給付対象世帯数324世帯 ・定額減税を補足する給付(うち不足額給付)の対象者数350人</p>	<p>・定額減税補足給付 (8,790千円うち7,575千円) 給付対象者数:282人</p> <p>事務費:1,649,413円うち158,000円</p>	物価高騰が続く中、生活が苦しくなった生活困窮者の生活の維持に繋げることができた。
2	学校給食費等減免事業	物価高が続く中で、子育て世帯への支援のため幼小中学校に在籍する園児児童生徒の給食費を全額減免し、子育て世帯の生活を維持する。	R7.4.1 ～ R8.3.31	9,784,448	9,600,000	0	184,448	<p>【経費内容】 ・幼小中学校の園児児童生徒の給食費無償化に係る経費</p> <p>【事業の対象(対象者、対象施設等)】 ・さくら幼稚園:21名 ・裏磐梯幼稚園:9名 ・さくら小学校:54名 ・裏磐梯小学校:19名 ・第一中学校:28名 ・裏磐梯中学校:19名</p>	<p>小学校、中学校及び幼稚園における給食費の減免を実施した。</p> <p>・さくら小学校:54名 ・裏磐梯小学校:20名 ・第一中学校:28名 ・裏磐梯中学校:11名 ・さくら幼稚園:20名 ・裏磐梯幼稚園:10名</p>	物価高が続く中、特に負担が大きくなっている子育て世帯に対する支援と、安心して子育てができる環境の構築が図られた。
3	村民公共交通機関利用促進事業(4～5月分)	物価高が続く中で、村民が村内公共交通機関を利用し買い物・通院する際の交通費を助成することで、村民生活を維持するとともに、公共交通機関の利用促進により地域公共交通事業者への支援を行う。	R7.4.1 ～ R8.7.4	897,050	558,000	0	339,050	<p>【経費内容】 ・村民が利用する村内運行2路線の利用料助成に係る経費</p> <p>【事業の対象(対象者、対象施設等)】 地域公共交通事業者(会津乗合自動車) 村民利用者(月延べ700人)</p>	<p>月平均延べ利用者数:796人</p>	生活に必要なバス路線を確保したことで、交通弱者の通院・買物等の生活の足を確保が図られた。

効果検証(物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金活用事業(令和7年度分))

No	事業名	事業概要	事業期間	総事業費 (円)	交付金充当額 (円)	国県補助金等 (円)	一般財源 (円)	経費内容及び対象	事業実績	事業評価
4	村民公共交通機関利用促進事業 (6~2月分)	物価高が続く中で、村民が村内公共交通機関を利用し買い物・通院する際の交通費を助成することで、村民生活を維持するとともに、公共交通機関の利用促進により地域公共交通事業者への支援を行う。	R7.6.1 ~ R8.3.19	5,214,640	3,129,000	0	2,085,640	【経費内容】 ・村民が利用する村内運行2路線の利用料助成に係る経費  【事業の対象(対象者、対象施設等)】 地域公共交通事業者(会津乗合自動車) 村民利用者(月延べ700人)	月平均延べ利用者数:930人	生活に必要なバス路線を確保したことで、交通弱者の通院・買物等の生活の足を確保が図られた。
5	暮らしを守るまごころ緊急支援金 (特別加算分)	物価高が続く中、村民生活を守るため村民1人あたり食料品分として3,000円の支援金を支給するもの。なお、村内に食料品を扱う事業所がほとんどなく、隣接する市町を生活圏としている地域実情に鑑み、早期に支援の効果を発現させる緊急性から、現金給付がもっとも効果的な手法であるため、給付により村民の暮らしを支援するもの。	R8.1.16 ~ R8.3.31	7,630,458	7,485,000	0	145,458	【経費内容】 ・暮らしを守るまごころ緊急支援金(特別加算分)経費 支援金:7,026千円 事務費:896千円  【事業の対象(対象者、対象施設等)】 村民2,342人	・給付対象者数:2,327人 ・事務費:649,458円	物価高に苦しむ村民に対し、早期に支援金を支給することができ、支援効果を発現させることができた。
6	暮らしを守るまごころ緊急支援金 (上乘せ分)	豪雪地域である当村では冬季間の燃料費負担も大きく、物価高が続く中、村民生活を守るため村民1人あたり食料品分として7,000円、燃料費分として10,000円の支援金を支給するもの。なお、村内に食料品を扱う事業所がほとんどなく、隣接する市町を生活圏としている地域実情に鑑み、早期に支援の効果を発現させる緊急性から、現金給付がもっとも効果的な手法であるため、給付により村民の暮らしを支援するもの。	R8.1.16 ~ R8.3.31	39,559,000	36,000,000	0	3,559,000	【経費内容】 暮らしを守るまごころ緊急支援金(上乘分)経費 支援金(食料品上乘分):16,394千円 支援金(燃料費分):23,420千円  【事業の対象(対象者、対象施設等)】 村民2,342人	・給付対象者数:2,327人	物価高に苦しむ村民に対し、早期に支援金を支給することができ、支援効果を発現させることができた。